

Link People for Happiness



第42期

株主通信

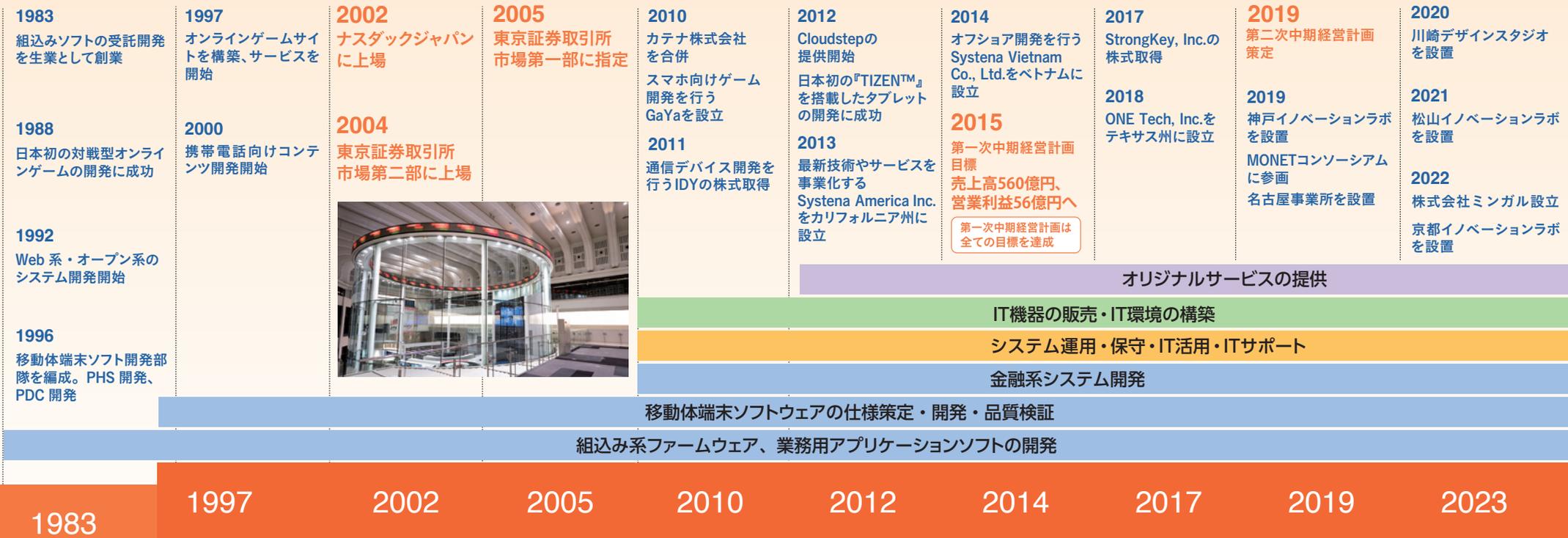
2023年4月1日～2024年3月31日



システナの歩み

ヘンミエンジニアリング株式会社を設立、翌年 株式会社システムプロ に商号変更

株式会社システナ



価値創造を支える多彩な事業

ソリューション デザイン事業	フレームワーク デザイン事業	ITサービス事業	ビジネス ソリューション事業	クラウド事業
<p>自動運転・車載システム、通信事業者サービス、社会インフラ関連システム、スマートフォンやWebアプリなどの開発、ロボット・人工知能・IoTを使った組み込み開発など各種システム、サービスの企画から設計・開発・検証・運用までを一貫してサポートしています。</p> <p>強み・特長</p> <ul style="list-style-type: none"> 長年にわたるモバイル端末の開発で培った豊富なノウハウと実績を基に、付加価値の高いトータルソリューションを提供。 モビリティやWebサービスの業務経験 DX推進のPMO AI関連の要素技術 	<p>金融分野(銀行、生損保)で培った基幹システムの開発ノウハウを、公共系・産業系に展開して幅広い業種向けに業務アプリケーションの開発支援を行っています。</p> <p>強み・特長</p> <ul style="list-style-type: none"> 40年以上にわたる豊富な開発実績とノウハウを基に、ベンダーのニーズ拡大に対応したワンストップのサービスを提供。 基幹系システムの開発・運用業務 クラウド活用を中心としたインフラ構築・設計 DX推進 	<p>システムやネットワークの運用・保守・監視、ヘルプデスク・ユーザーサポート、データ入力、大量出力、モバイル端末アプリおよびインターネットコンテンツの開発支援・品質評価など、ITに関する様々なアウトソーシングサービスを提供しています。</p> <p>強み・特長</p> <ul style="list-style-type: none"> 個々のサービスを提供するだけではなく、システナのチーム力により“戦略的パートナー”として顧客企業のビジネスの発展に寄与。 IT投資によるランニングコスト削減に寄与 DX需要の増加する中、企業のデジタル人材不足を支援 	<p>サーバー、パソコン、周辺機器、ソフトウェアなどのIT関連商品を企業向けに販売しています。また、基盤構築、仮想化など、IT機器に関連した最新のサービスやプロダクト導入サービス(RPA・BIツールなど)の企画・開発・提供をしています。</p> <p>強み・特長</p> <ul style="list-style-type: none"> システナが持つ全てのリソース(モバイルソリューション、システム開発、システムの運用・保守、ヘルプデスク、ユーザーサポート、クラウドサービス)を融合し、顧客企業に最適なITソリューションを提供。 クラウドサービスやオンプレミス、DX等大きな市場にも強み 	<p>自社サービス『Canbus./キャンバスドット』、『Cloudstep』、『Web Shelter』の提供および『Google Workspace』、『Microsoft 365』などクラウド型サービスの提供・導入支援を行っています。</p> <p>強み・特長</p> <ul style="list-style-type: none"> CRM(顧客管理)や人材管理等のリソース管理をオールインワンで実現するDXプラットフォーム『Canbus.』を基軸に、顧客の社内コミュニケーションの改善や業務改善を支援。 DX化のPMO ITコンサルティング システムインテグレーション推進



取締役社長
三浦 賢治

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第42期(2023年4月1日から2024年3月31日まで)における国内経済は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進み、引き続き緩やかな回復基調となりました。しかしながら、資源・原材料高によるインフレ抑制のための世界的な金融引き締めが長期化していることや、不透明な国際情勢を背景としたグローバルな景気の下振れの懸念も高まっております。

こうした状況のもと、当社グループはインフレ下の収益確保に向けて生産性の向上を重要な課題としてストック型ビジネスに注力いたしました。また、DX推進支援のコンサル業務、PMO案件など付加価値の高い、今後の成長性が見込まれる領域のビジネスの拡大を推進いたしました。

第43期は引き続き収益確保および将来的な成長につながる領域への取り組みを推し進めるとともに、それを支える優秀な人材の確保・育成を急務として、短期的な積極投資も行ってまいります。

お客様や株主様のご期待に真摯にお応えしながら、オールシステナで事業に邁進し、企業価値の向上に努めてまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2024年3月期

売上高 **76,940** 百万円



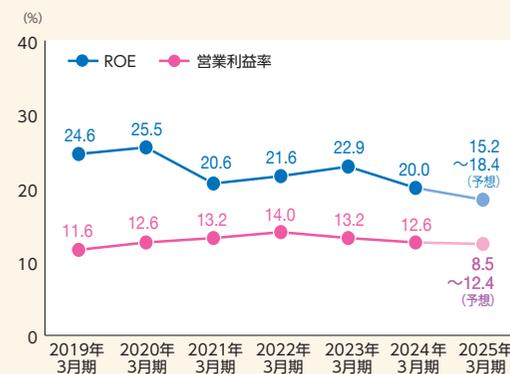
営業利益 **9,713** 百万円



経常利益 **9,942** 百万円



営業利益率・ROE





取締役社長 三浦 賢治

システナの価値創造

～人的資本とシステナ流人材戦略～

少子高齢化に起因する社会的な人材不足の深刻化に向けて、当社グループは顧客伴走型のITサービスの提供で貢献するとともに、自社における人材への取り組みも時代の潮流にあわせて進化を続けています。

第43期はまた、従業員の待遇改善や賃金アップなど、人材への投資に今まで以上に積極的に取り組んでまいります。人材確保のため、採用面にも大きく資金を投じていきます。採用コストを含めた不確定要素が大きいため、第43期の連結業績予想は幅を持たせたレンジ形式といたしました。当社グループの新たな価値創造の源泉となる優秀な人材の確保は先行投資として必須と考えています。

今回のテーマである「人的資本」について、人的資本に対するお考えと、システナのIT人材が社会に提供する価値についてお聞かせください。

物流業界の2024年問題などがニュースで取り上げられていますが、社会全体で慢性的に働き手が不足しています。そうした中で「人的資本経営」が重視されるのは当然の流れです。とはいえ、当社は従来から人的資本が事業における最重要事項と考え、ジェンダーレスやジョブ型雇用など当たり前のことと捉えてきました。

現在のIT業界においても人材不足は同様です。SAP ERPのサポート終了、システムのレガシー化、サイバーセキュリティリスクの高まり、お客様の省力・省人化

などにより、IT人材の需要は上がる一方です。特にミッドキャリア層の人材の奪い合いが起きている。

それと同時に、IT業界に必要とされることも変化してきました。システムはインフラとして常に動くものになり、日々サービスを提供していく役割を期待されます。また、IT投資に関する経営課題をお客様と一緒に解決するコンサルティングやPMO型サービスにもニーズが高まっています。

そこで、アウトソーシングサービスを行う当社のITサービス事業では、従来の個々のサービスを提供するだけでなく、お客様のパートナーとして伴走していくITサービスを提供しています。当社のITサービス事業は女性が最も活躍している分野で、お客様に寄り添うことを得意とする異業種からの多様な人材が能力を発揮して、お客様のニーズに柔軟にお応えしています。

当社のITサービス事業の提供するサービスによってお客様の省力化および働く環境の改善に寄与することが、ひいては人材不足という社会課題の解決に貢献するものと思っております。

加えて、多様性社会の実現のため、当社グループ会社の東京都ビジネスサービス株式会社(東京都との合併会社)とその子会社である株式会社ティービーエス

第42期(2024年3月期)のグループ業績と第43期(2025年3月期)の事業の方向性についてご説明ください。

当期は売上高において過去最高を更新しましたが、一方で営業利益以下は小幅減益となり当初計画を下回りました。この主な原因は、ソリューションデザイン事業で第1四半期に発生した不採算プロジェクトの影響によります。プロジェクト自体は第2四半期で収束したものの、その対応のために機会損失および要員配属の遅れが生じました。その他のフレームワークデザイン事業、ITサービス事業、ビジネスソリューション事業は大幅に増益となっております。当期は減益となったソリューションデザイン事業ですが、「車載」「DXサービス」領域の需要は旺盛で、第43期以降もそのチャンスをしっかり掴んでまいります。

オペレーションにて、障がい者の「仕事を通じた社会貢献の場」の創造と就労支援を行っています。当社グループは障がい者の方一人ひとりがもつ個性と能力を活かすためのノウハウを30年以上にわたって蓄積してきました。そのノウハウを用いてお客様と障がい者の間に立ったサービス展開も進めています。

システナ流の人材戦略について 教えてください。

行動基準として掲げている「私がガンバレば、ハッピーになる人がきつという」が、当社グループの根幹にあるマインドです。当社が2002年に大阪証券取引所ナスダック・ジャパン市場に上場した際、実はサービス業として登録していました。当社の基本にはサービスを提供する企業であるという意識があるからです。社員教育などでもテーマパークやホテルなどのホスピタリティを参考にし、企業文化を作り上げてまいりました。お客様に寄り添い、お客様のために頑張れる人材が、まさに現在求められている顧客伴走型のIT人材とも合致するのではないのでしょうか。

社内における人材への具体的な取り組みとしては、まず前述のとおり、人材の定着・確保のため、待遇面の改善や給与アップを図っています。

加えて、魅力的な成長機会も重要と考えています。当社では、自動運転やスマホ決済など最先端の分野を扱うプロジェクトに関わることができます。また、以前は各本部で独立していたキャリア形成を横断できるよ

うにし、開発やITサービス等、システナの中だけで様々な経験ができるようになりました。こうした当社の魅力を採用時にもしっかり発信し、新卒だけでなく経験者採用にもつなげたい考えです。

スキルアップについては、各本部で体系的な教育プログラムを用意しており、多様なスキルを身に付けられるようにしています。現在は開発方法の変化もあり、求められるスキルも様々です。従来は期日までに完成品を納めるという開発方法が主流でしたが、今は利用者の声を聴きながら改善を重ねて完成版をリリースするという開発方法も増えています。となると、システムの専門知識のほか、お客様の声を引き出す力やサービスをアピールする力が必要となります。社員一人ひとりが自分に必要なスキルを高めることができるように改善を重ねていきます。加えて、キャリアパスも多様化させています。以前は役職者でないと高い報酬は難しい給与体系でしたが、現在はある分野のエキスパートになることで昇給ができるようになっています。

今後は、各本部を横断できるゼネラリストを養成するカリキュラムを、システナ流に構築していかなければならないと考えています。というのも、お客様のITシステム全てのニーズを当社グループがワンストップで受注するためのアカウント営業に本格的に取り組むためです。まずは、当社グループを信頼していただいているクライアントに向けて、オールシステナの提案力で営業を積極的に行っていきます。そのための営業人材の育成も重要だと考えています。

最後に株主の皆様へのメッセージをお願いします。

第43期はこれまでの利益重視から、売上も重視した両輪の経営方針へと転換しました。採算性が低い案件でも将来性が期待できるプロジェクトは受注してまいります。そのため、短期的には収益性が落ちる場合もあるかもしれませんが、将来の成長に向けた挑戦としてご理解いただけますと幸いです。

2024年3月期期末の配当金におきましては、前年同期より1円増配し、1株当たり5円としました。株主の皆様には、当社グループの取り組みと方向性をご理解いただき、今後とも末永いご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



■ システナの事業紹介 第3回 ITサービス事業の取り組み

システナの事業を株主の皆様へお伝えする本特集。第3回目はITマネジメント事業本部の藤井宏幸氏にお話を伺いました。



取締役
ITマネジメント事業本部長
藤井 宏幸

私たちITマネジメント事業本部は、ITに関する様々なアウトソーシングサービスを提供している部門です。

また私たちは、当社グループの強みでもある独立系IT企業という立ち位置を生かし、様々なメーカーと連携できることに加え、社内の部門を超えた「オールシステナ」として、それぞれのお客様に合った最適なご提案を行い、お客様のビジネス発展をサポートしています。

事業部は「ITビジネスサービス」、「IT基盤サービス」、「PMOサービス」の3つで構成されています。

まず「ITビジネスサービス」ですが、企業のヘルプデスクやPCの資産管理を担っており、その他PC導入時には設定サービスを提供するなど、お客様と直に接することができ、お客様のITイベントや投資計画を伺うことができる重要な事業部です。ここでお客様からいただいたご要望を、例えば、PCの販売部門やシステム開発の部門などと連携することで、会社全体の売上にも貢献しています。

次に「IT基盤サービス」ですが、様々な業界や業種のお客様に対して、

ITインフラ、アプリケーションや業務システムといった領域を中心にサービスを提供する事業部です。この領域では、私たちが長年培ってきたノウハウを生かし、要件定義から運用保守まで一貫してお受けしています。

3つ目の「PMOサービス」は当期(42期)において特にニーズが高まった領域の事業部です。ここでは、多くの企業がITモダナイゼーションをキーワードに様々なプロジェクトを推進している中で、お客様のビジネスやプロジェクトの成功に向けた業務支援を行っています。

さて、私たちの部門の特徴でもある、「お客様に寄り添ったサービス」を実現するためには、お客様としっかりとした信頼関係を築き上げる必要があります。IT人材であっても高いコミュニケーション能力が重要です。当社グループの行動基準の「私がガンバレば、ハッピーになる人がきっといる」に共感して入社した人材は、IT業界以外からの入社が大半を占め、その約8割がサービス業の経験があります。ITの技術力を磨きながら、前職での経験や高いコミュニケーション能力を生かし、お客様に貢献したいという強い思いを持って活躍しています。また部門全体の約7割が女性で、役職者も7割弱が女性ですので、多くの女性が活躍しているというのも部門の特徴の一つに挙げられます。

人材育成については、資格支援制度、eラーニング、認定トレーナー制度やエキスパート社員によるウェビナーなど、充実しています。社員自ら率先して自己研鑽に取り組むという風土があり、その成果の一つとして資格取得者は毎年約1,000名にのぼります。一方で、社内風土の偏りが出ないよう外部研修を積極的に取り入れています。

今後の事業展開ですが、特にモダナイゼーションを目的としたシステムの更改や導入に関して、伴走型のプロジェクト推進を拡大します。私たちは今後もお客様に寄り添いながらサービスの質を高め続け、社会に新たなつながりや価値を提供していきます。そして当社グループ全体の企業価値向上に寄与すべく、社員一丸となって事業に邁進します。

会社の概況

会社概要 (2024年3月31日現在)

社名	株式会社システナ
設立	1983(昭和58)年3月
資本金	15億1,375万円
従業員数	単体：4,440名 (2024年4月1日現在) 連結：5,980名
加盟団体	日本コンピュータシステム販売店協会(JCSSA) 日本情報技術取引所(JIET) MONETコンソーシアム

役員 (2024年6月21日現在)

代表取締役会長	逸見 愛親
取締役社長	三浦 賢治
専務取締役	逸見 真吾
常務取締役	小谷 寛
取締役	田口 誠
取締役	藤井 宏幸
取締役(社外)	小河 耕一
取締役(社外)	伊藤 麻里
取締役(社外)	逸見 圭朗
取締役(社外)	黒崎 力蔵
常勤監査役(社外)	有田 敏二
監査役(社外)	中村 嘉宏
監査役(社外)	阿田川 博
監査役(社外)	徳尾野 信成

特集 システナのESG 第4回 従業員の健康増進に向けた取り組み「システナ健康宣言」

当社は2017年から「システナ健康宣言」を掲げ、従業員の健康意識の向上や、会社主導での定性・定量的な健康度の測定・改善、働きやすい職場環境の醸成に継続的に取り組んでおります。今後も従業員の健康増進に積極的に取り組み、組織の活性化を図ってまいります。

【主な取り組み】

- 安全衛生委員会の開催
- 健康診断受診率100%対応
- 産業医の介入による適正体重維持率の向上
- 特定保健指導の推進
- インフルエンザ予防接種の推進
- ストレスチェックの実施および集団分析と対策
- 健康情報の定期的な発信によるヘルスリテラシーの向上
- 管理職へのメンタルヘルス教育
- コミュニケーションの円滑化によるワークエンゲージメントの向上
- セルフケア習得のための定期的な教育
- 不調者の早期発見による休職者の低減
- 禁煙活動
- サークル活動の推進
- イベントの開催：綱引き大会、BBQ大会など
- 置型健康社食(オフィスおかん)における健康メニュー提供等取組強化

●「健康経営優良法人2024大規模法人(ホワイト500)」 4年連続認定



※特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を日本健康会議(経済産業省主催)が認定する制度

●「スポーツエールカンパニー2024」 4年連続認定



※従業員の健康増進のためにスポーツ活動の促進に積極的に取り組む企業をスポーツ庁が認定する制度

グループ会社概要 (2024年3月31日現在)

グループ会社との連携による総合力の強化により、事業の拡大を図っています。

★印は連結子会社、●印は持分法適用関連会社

株式の状況 (2024年3月31日現在)

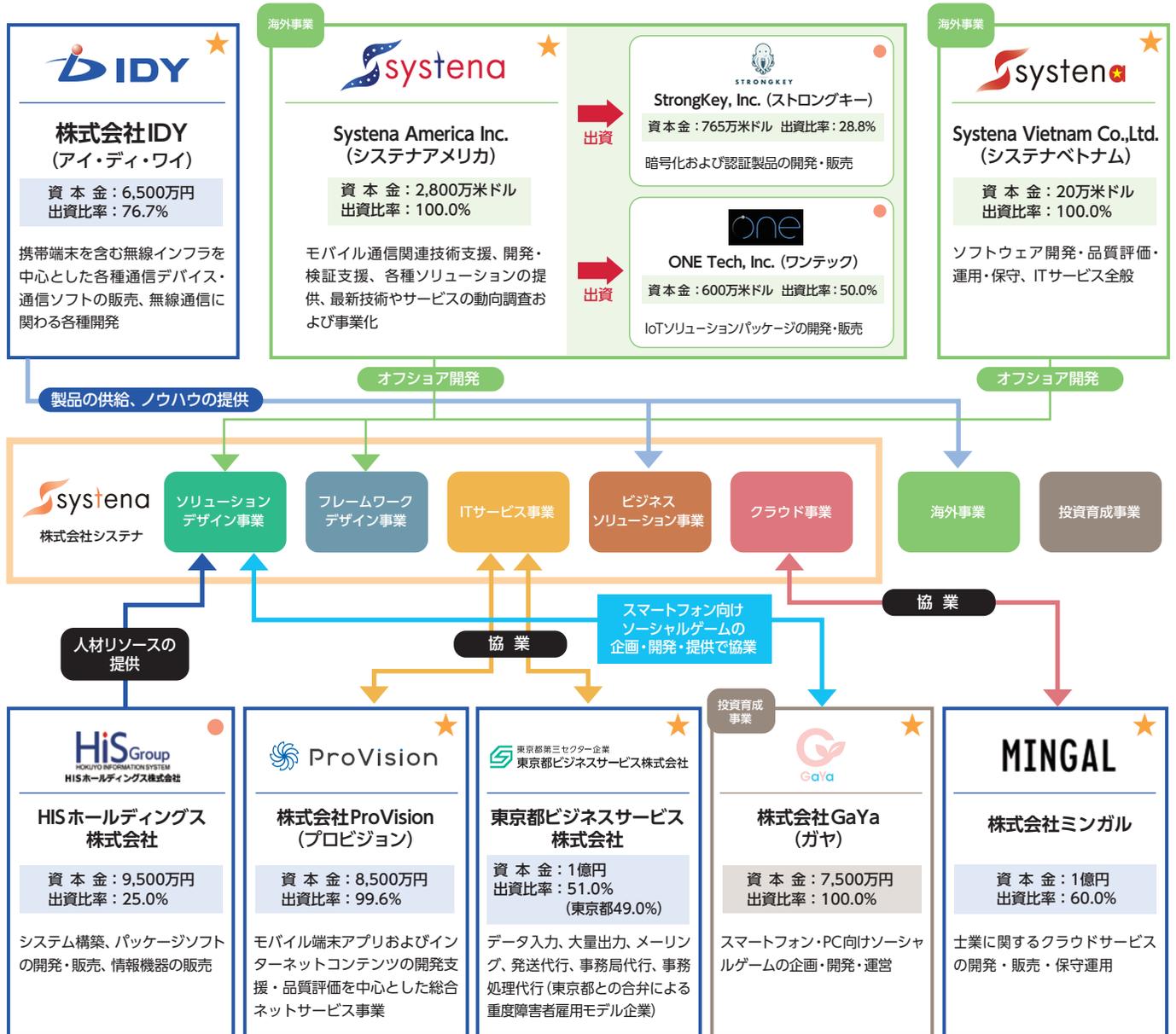
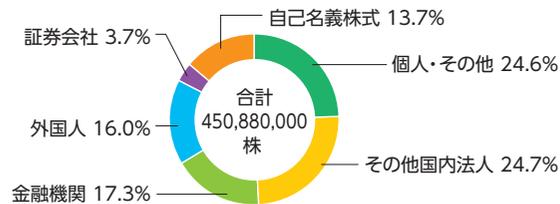
発行可能株式総数 1,478,400,000 株
 発行済株式の総数 450,880,000 株 (自己株式61,871,488株を含む)
 株主総数 37,122名

大株主 (上位10名) (2024年3月31日現在)

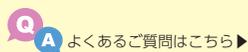
株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
SMSホールディングス有限公司	104,007,200	26.73
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	47,718,900	12.26
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	25,964,600	6.67
システム社員持株会	8,413,700	2.16
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140044	6,418,000	1.64
J P モルガン証券株式会社	5,551,453	1.42
STATE STREET BANK WEST CLIENT-TREATY 505234	4,270,100	1.09
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE MONDRIAN INTERNATIONAL SMALL CAP EQUITY FUND, L. P.	4,109,400	1.05
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	3,973,013	1.02
JP MORGAN CHASE BANK 385781	3,817,552	0.98

(注) 1. 当社は、自己株式を61,871,488株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
 2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況 (2024年3月31日現在)



事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 なお、その他必要がある場合は、あらかじめ公告して基準日を定めます。
単元株式数	100株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区泉和二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	フリーダイヤル：0120-782-031 受付時間 平日9:00～17:00(銀行休業日を除く) ●株式に関する手続き https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
上場金融商品取引所	東京証券取引所プライム市場
証券コード	2317
公告方法	電子公告により、当社ホームページ (https://www.systema.co.jp/) に掲載いたします。ただし、電子公告を行うことができない事故、その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。



住所変更、単元未満株式の買取、配当金受取方法の指定等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いのお申出先について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

フリーダイヤル：0120-782-031
受付時間 平日9:00～17:00(銀行休業日を除く)

株式会社システナ

本社

〒105-0022 東京都港区海岸1丁目2番20号 汐留ビルディング 14F・16F
TEL：03-6367-3840(代表) FAX：03-3578-3012

横浜事業所

〒220-8123 横浜市西区みなとみらい2丁目2番1号 横浜ランドマークタワー 23F
TEL：045-640-1401 FAX：045-640-1461

名古屋事業所・名古屋営業所

〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅5丁目2番17号 フロンティア名駅 5F
TEL：052-854-7557 FAX：052-581-7170

大阪支社

〒530-0013 大阪市北区茶屋町19番19号 アプローチタワー 18F
TEL：06-6376-3537 FAX：06-6359-7012

札幌開発センター

〒060-0034 北海道札幌市中央区北四条東4丁目1番1号 創成クロス 6F
TEL：011-208-1012

福岡開発センター

〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東三丁目14番1号 T-Building HAKATA EAST 11F
TEL：092-477-7401

広島開発センター

〒730-0015 広島県広島市中区橋本町10番10号 広島インテス 4F
TEL：082-577-1100

竹芝デザインスタジオ

〒105-0022 東京都港区海岸1丁目9番18号 国際浜松町ビル 2F

川崎デザインスタジオ

〒210-0024 神奈川県川崎市川崎区日進町1番地14 JMFビル川崎01 5F

神戸イノベーションラボ

〒650-0032 兵庫県神戸市中央区伊藤町119 大樹生命神戸三宮ビル 3F
TEL：078-771-9303

松山イノベーションラボ

〒790-0006 愛媛県松山市南堀端町5番地8 オフセビル 9F
TEL：089-932-1540

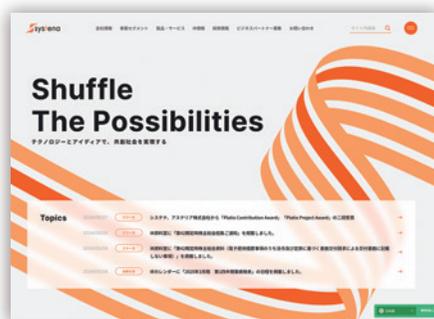
京都イノベーションラボ

〒600-8216 京都府京都市下京区東塩小路町601 NUP BUILDING 京都駅前 2F
TEL：075-778-0595

詳細なIR情報をはじめ、サービスのご案内、コンプライアンスへの取り組みなど最新の情報をご覧いただけます。ぜひご利用ください。

ホームページ

<https://www.systema.co.jp/>



Facebook

<https://www.facebook.com/systema.official>



Instagram

https://www.instagram.com/systema_official



X

<https://x.com/systemaofficial>



TikTok

https://www.tiktok.com/@systema_official



この印刷物は、FSC® 森林認証紙と植物油インキを使用して印刷されています。